

繊維基礎講座 ポリエステル繊維

日本繊維技術士センター (JTCC) 技術士 (繊維) 峯村 勲弘

6. ポリエステル繊維の捺染

捺染は布に模様を付与する方法で、その方式には、**直接捺染**、**抜染**、**防染** があり、現在は、生産性・再現性の点からスクリーンを使用した機械捺染が主流です。国内生産はファッション製品が中心で、汎用品の生産はコスト面から海外に移っています。

6. 1. 捺染の方法

図1に示したように、模様柄付のスクリーン (平面、円筒状) から、布の上に色糊を押し出し、次いで乾燥・発色・水洗を経て、模様 (柄) を布上に再現させる方法です。

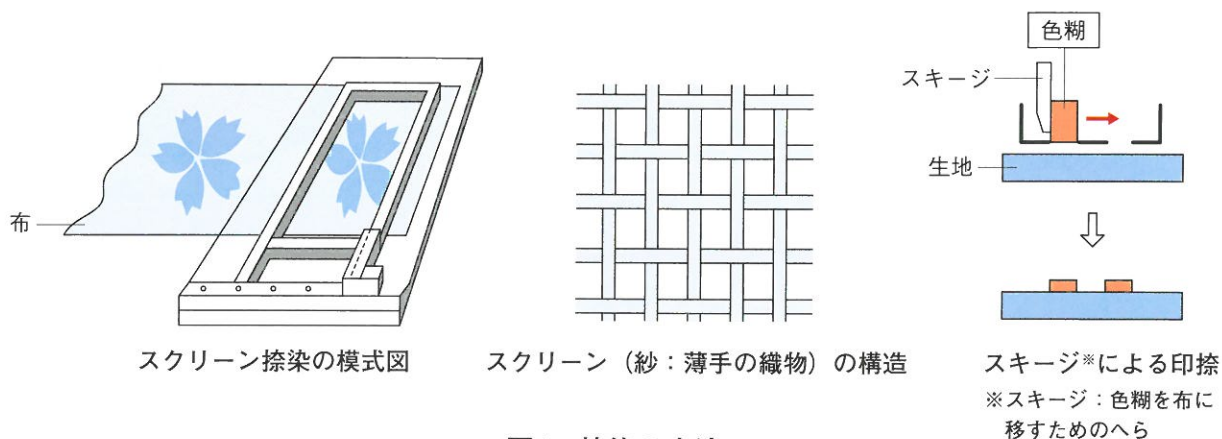


図1 捺染の方法

① **直接捺染** は、模様の部分 (図1では桜の模様部分) に染料を含む色糊を直接印捺する、最も簡単な捺染方法です。

② **抜染** は、布を均一に染めたのち、模様となる部分に抜染剤を含む糊を印捺して、その部分に染まっている染料を脱色させ、模様を表現する方法です。

(抜染法)

地色染色 → 抜染糊印捺 → 固着



可抜性染料で染色後、還元剤または酸化剤を含む抜染糊を印捺する。

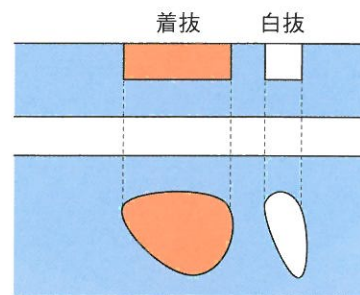


図2 抜染の方法